

ポストコロナ社会における国民の農村志向という動きのなかで、新たに作り出していく地方・農村政策論

農村政策の変貌

—その軌跡と新たな構想—

小田切徳美 著

明治大学農学部教授(大学院農学研究科長)専門は農政学・農村政策論、地域ガバナンス論。1959年、神奈川県生まれ。東京大学大学院単位取得退学、博士(農学)。(財)農政調査委員会専門調査員、東京大学農学部助手、高崎経済大学経済学部助教授、東京大学農学部助教授等を経て、2006年より現職。高知大学客員教授。日本地域政策学会会長。

A5判 320頁 ●2,640円(税込) ISBN:978-4-540-20173-8 2021年3月刊

日本社会の錘(おもり)である農村の新たな胎動を活写
国土の均衡ある発展と中央・地方の格差是正、新型コロナの突出にも見られる東京圏一極集中解消、分散型社会の形成等、ポスト・コロナ社会を見据えた地方・農村政策論。農山村実態分析をした上で、中山間地域等直接支払制度を始め、農水省以外の省庁による地域おこし協力隊、小さな拠点づくり等についても幅広く、かつ現場の取組みを詳細に紹介しながら解析。都市部の人びとの農村・地方へのIターンの動きや、それを支援する地方自治体や集落の人びとの活動も活写。



目次

はしがき

第1部 農村問題の理論と政策—その枠組みと再生への展望

第2部 農村の変貌

- 1章 農村問題の構図
- 2章 集落の動態—2000年農業センサス分析

第3部 中山間地域等直接支払制度の形成・展開・課題

- 1章 制度形成の背景と特徴
- 2章 制度の成果と実践的課題
コラム① 集落協定の知恵袋
- 3章 地域農政としての制度
コラム② 農政改革から「地域主義」を掘り起こそう
- 4章 直接支払いとしての制度

第4部 農村政策の模索と展開—動き出した諸政策

- 1章 農村振興政策の模索
コラム③ 英国の農村再生と自治体
- 2章 地域振興一括交付金—民主党政権下の模索
コラム④ 県庁の地域ばなれ
- 3章 新しい集落対策
コラム⑤ 「限界集落」とGM

- 4章 「小さな拠点」の形成
コラム⑥ 「買物難民」の意味
- 5章 新しい過疎法—2010年新法の模索
コラム⑦ 地域運営組織と公民館
- 6章 地方分権改革と市町村合併—農山村への影響
コラム⑧ 地方分権改革20周年
- 7章 ふるさと納税
コラム⑨ 「信託住民」構想

第5部 地方創生下の農村—動き出す人びとと地域

- 1章 地方創生の論点
コラム⑩ 地方創立法案—格差是正の視点が欠落
- 2章 田園回帰
コラム⑪ 孫ターン
- 3章 地域おこし協力隊278
コラム⑫ 地域の不満・大学の不安
- 4章 関係人口と「にぎやかな過疎」
コラム⑬ 人口から人材へ—第2期地方創生の特徴
- 5章 ポスト・コロナ社会と農村
コラム⑭ バックキャストイングへの疑問

あとがき

農文協から発行の関連書籍

- 田園回帰の過去・現在・未来 移住者と創る新しい農山村 小田切徳美・筒井一伸編著 ●2,420円(税込)
- 地域再生のフロンティア 中国山地から始まるこの国の新しいかたち 小田切徳美・藤山浩他編著 ●2,860円(税込)
- 農山村再生の実践 小田切徳美編著 ●3,080円(税込)

注文書

農村政策の変貌



冊

A5判 320頁 ●2,640円(税込)
ISBN:978-4-540-20173-8

田園回帰の過去・現在・未来 ()冊 ●2,420円(税込) 地域再生のフロンティア ()冊 ●2,860円(税込)
農山村再生の実践 ()冊 ●3,080円(税込)

氏名(団体名)	ご住所(〒)	書店番線
(ご担当者様)		
TEL - - FAX - - E-mail		